

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 7 月 3 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870201195
法人名	社会福祉法人今治市社会福祉協議会
事業所名	今治市社協グループホーム ゆいの里
所在地	今治市大三島町野々江2435-14 (電話) 0897-74-1370
管理者	菅 千枝
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15
訪問調査日	平成 20 年 5 月 30 日
評価確定日	平成 20 年 7 月 8 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 5 月 8 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 7 月 11 日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	11 人
常勤	2 人
非常勤	9 人
常勤換算	7.7 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	31,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有()円	○ 無	
保証金の有無	有()円	有りの場合	
(入居一時金含む)	○ 無	償却の有無	
食材料費	朝食 200 円	昼食	400 円
	夕食 400 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 5 月 8 日事業所記入)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 86.4 歳	最低 70 歳	最高 95 歳		

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	なし	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑の山をバックに広い敷地が広がり、市保健センターと社会福祉協議会を対面に、白壁と瓦葺きの純和風の建物が2棟並び建っている。その一棟が当ホームで、築200年の古民家を改装、利用している。広い共用空間はゆったりとくつろげるよう、様々な工夫をしている。管理者と職員はコミュニケーションをよく図っており、離職もなく、利用者にとって馴染みの関係が築かれている。職員は理念に沿った暖かいケアとサービスに努め、住み慣れた地域での安心した暮らしを支援している。毎月及び年間行事の計画やボランティアの受け入など、利用者の楽しさを

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)
評価の結果を活かして改善計画表を作成し、家族が意見や要望を出しやすい工夫、地域との交流、ホームの柔軟な多機能性などについて改善を図っている。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)
評価の意義を説明し、職員全員で話し合い、運営者側と管理者がまとめて作成している。職員は評価を日々のケアの振り返りとして、サービスの重要性を再確認している。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)
市職員、地域住民代表者や家族らを招き、2か月毎に開催している。議題にホームの行事や課題、外部評価の公表等を挙げ、活発な意見交換を交わし、地域との交流や防災協力など参加者から出された意見や要望をサービスの向上に活かしている。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)
重要事項説明書に苦情申し立て先を明示し、ホーム玄関には意見箱やノートを備えている。家族の訪問時には積極的に声をかけ、意見を聞くように努めているが、今後は家族会を立ち上げ、さらに意見や要望を出せるよう予定している。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)
祭りや敬老会、寺社参りなど地域の行事に積極的に参加し、また、中学校行事の参加や小学生の訪問を受け入れている。事業所主催の夏祭りには、約200人の地域住民参加があり、いろいろな場面を通して、地域に密着したグループホームとなっている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目
(評価項目の構成)

Ⅰ.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

Ⅲ.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

Ⅳ.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

Ⅴ.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 今治市社協グループホームゆいの里

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名

菅 千枝

評価完了日

平成 20 年 5 月 8 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 「家のぬくもり、ひとのぬくもり、地域のぬくもりにふれ合いながらその人らしく暮らしていただけるようお手伝いさせていただきます。」という理念のもと、日々サービスの向上に努めている。 (外部評価) 運営法人側の原案を基に職員全員で話し合い、地域密着型サービスの役割を盛り込んだ、ホーム独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員が理念を理解し、みんなで話し合いの場を持ちながら、日々のケアに努めている。 (外部評価) 毎月開催のミーティングで、管理者と職員は理念について話し合い、日々のケアを振り返りつつ、その実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 里だよりにより、行事報告、行事予定を送付し、地域に出かけたり、ホームに来ていただいたりしながら、理解してもらえるよう努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩に出かけたり、ホームの行事などにお誘いをしたり、日頃の会話などにより、親しくなれるよう努めている。又、近所の方が家で収穫した野菜や果物などをたびたび届けて下さっている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 保育園行事、お寺の花祭り、中学校の伝承文化発表会、お大師参りなど、いろいろと声を掛けていただき、体調に合わせて出かけている。 (外部評価) 寺の稚児祭りやお花祭り、お大師参り、敬老会への参加、中学校主催の伝承文化発表会への招待など、年間を通じて行事に参加して地域と交流している。ホーム主催の夏祭りには地域からの参加が約200人あり、小学生や幼稚園児の来訪も受け入れたり、利用者と親交のあった方からの年2回のおはぎの差し入れも続いている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 昨年度「認知症の正しい理解」と題して2回の研修会を実施し、多くの地域の皆様（110名）の参加を得た。春のお大師様の日には利用者様と一緒に作った匂い袋をお供えし、地域の方に御接待させていただいた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価、外部評価の意義は理解しており、ミーティング時に話し合いながら、より良いサービスの提供に反映させている。 (外部評価) 評価の意義を理解し、運営者側、管理者、職員が協議して自己評価を作成している。外部評価は、その結果を活かして改善計画書を作成し、家族が意見や要望を表出しやすい工夫、地域との交流、ホームの多機能性としての柔軟な対応など、具体的な改善に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 外部評価結果、及び、ゆいの里の課題などを話し合い、意見をいただきながらサービスの質の向上へと活かしている。また、色々な協力の申し出をいただいている。 (外部評価) 市担当者、地域代表者、地区消防団や利用者及び家族等を招き、2か月毎に開催している。議題にホームの行事や課題、外部評価の公表等を挙げ、活発な意見交換があり、出された意見等をサービスの向上に活かしている。会議を通じて地域との交流が更に進展している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 保健師との連携により、認知症専門医との連携も取れている。また、里だよりのお届けや、行事予定などをお知らせし、理解や助言をいただきながらサービスの向上へとつなげている。 (外部評価) 市担当者及び隣接の市保健センターに広報誌や行事予定を届けて行き来する機会をもち、助言を得たり、保健師との連携を通してサービスの向上に取り組んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加し、制度について学んでいる。また、必要時には活用できるよう心掛けている。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修に参加し、施設内での研修テーマに取り上げ、正しく認識している。また、利用者様の状態も把握できおり虐待防止に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に施設訪問をお勧めし、十分な説明を行い、理解、納得いただいた上で入居契約している。また、退居に至るまでは、家族様の意向を伺いながら随時対応している。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 穏やかな心配りに努め、利用者様の気持ちの変化を把握し、介護に活かしている。また連絡ノートにて情報を共有し、その人らしい生活が送られるよう援助している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) おたよりの発行や行事予定の案内などでホームでの生活状況を報告している。また、必要時には随時電話連絡をとっている。金銭管理についても来訪時に確認を得ている。		
			(外部評価) ホーム便りや行事予定案内を渡したり、家族の訪問時や電話で利用者の暮らしぶりや健康状態を個々に合わせて報告している。金銭出納簿は領収書を添えて定期的に報告し、確認印を得ている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族と職員との話しやすい関係づくりに努め、ご意見、ご希望を伺いながら、運営に反映させている。苦情・相談窓口を設け、意見の受け入れ準備ができている。		
			(外部評価) 重要事項説明書に苦情申立先を明示し、玄関にはご意見ミニポストやノートを設置して対応している。家族の訪問時にも声をかけ、意見等を聞くよう努めている。よりコミュニケーションを図れるよう、家族会の立ち上げを目指している。	※	家族が意見や要望を出しやすい場としての家族会の立ち上げを予定しているとのことなので、今後の取り組みに期待する。

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 支部長、管理者、職員が毎月定例会議を行い、その内容を全体ミーティングで共有している。また、意見や提案を聞く機会を設け、運営に反映させている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 身体状況の変化時や、行事などで配置基準以上に職員が必要な場合は、その時々に応じ職員を配置し、柔軟な対応ができています。また、日頃から話し合い、理解や納得が得られている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動は必要最小限に抑えている。 異動があった場合でも、日頃から全職員が協力しあいながら利用者様に接しており、利用者様にとって支障がないような体制が整っている。 (外部評価) 現在まで職員の離職はないが、法人内の異動については、敷地内の他ホーム等とは互いに行き来して顔の見える関係が築かれていることから、利用者へのダメージは見られない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 全職員が研修できるよう、計画的に外部研修に参加し、ミーティング時には、研修報告を行い、職員が共有できるようにしている。 (外部評価) 県グループホーム連絡協議会に所属し、情報を得ている。外部研修の情報等を全員に知らせ、パート職員も含めて順番に受講の機会を確保している。受講者は毎月のミーティングで報告し、資料は全員が閲覧できるようにしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 隣接したグループホームとの交流は、日々行っている。他のホームとは、定期的な研修会場での意見交換の機会があり、サービスの発展につなげている。 (外部評価) 法人内の2施設との交流が日常的に行われている。外部の同業者の訪問を受けたり、研修会で情報交換を行うなど、サービスの質の向上に努めている。同業者との相互訪問や勉強会開催等をより活性化することが今後の課題である。	※	現在交流のある同業者とネットワークを結び、相互交流や勉強会を持ち、それらの活動を通じてサービスの更なる向上に取り組むことが期待される。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 日常的に意見交換できる雰囲気づくりに心掛けて、支部長（事業所長）と、いつでも相談できる体制を整えている。また、親睦会などを実施し、ストレス解消できるように取り組んでいる。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 計画的な研修参加や、資格取得に向けた支援をし、各自が向上心を持って働けるよう担当を決めている。また、支部長が日常的に来所し、職員、利用者さまに声をかけしながら状況把握している。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前の面談で、今までの生活やADLの把握に努め、本人の思いや不安なことなど話し合う時間を多く持ち、より良い関係づくりに努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 今までの生活状態やサービスの利用状況などを教えていただき、家族様の意向や、どこまでのサービスができるか等、事前に話し合いの場を持っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談内容を十分に確認し、必要なサービスの情報を迅速に提供できるよう努めている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) パンフレットでの情報及び、事前にお宅を訪問して説明したり、来所をお勧めしたり、利用者様と家族様と職員との交流を持ちながら、施設の雰囲気に慣れていただいている。 (外部評価) 利用前に管理者や職員が自宅を訪問したり、ホームを見学してもらい、また、入居時は家族の訪問を頻繁にしてもらうなど、家族と相談しながら徐々に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に見守りしながら、得意分野では一人ひとりの力が発揮できるように工夫している。また、言葉がけに配慮しながら共に喜び、感謝の気持ちを伝えている。 (外部評価) 利用者から般若心経を教えてもらって皆で唱えたり、得意な野菜作りを教えてもらうなど、共に過ごす中で、利用者を人生の先輩として、学んだり支え合う関係を築いている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人やご家族様の希望、大切にしていることを教えていただき、介護に反映するように努めている。また、必要な連絡、行事等にお誘いすることにより、家族様の協力が得られており、共に支えあう関係が築けている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) おたよりや、電話にて日頃の様子や本人の思いなどをお知らせしている。また、行事やお誕生会にお誘いし、一緒に食事やゲームなどをしながら和やかに過ごしていただけるように努めている。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 敬老会行事、地域のお祭り、お大師参り、寺行事などへ積極的に出かけ、友人、知人との交流の機会を多く持つようにしている、本人行きつけの理・美容院への支援も行っている。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者様同士で談話したり、筋力低下予防のために、ホーム内を歩行したり、また、みんなでできる作業をしながら関わりを持てるようにしている。 心身の状態や気分などで日々変化することもあり、常に見守りし、不安や支障をきたさないように対応している。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後も家族様から電話連絡もあり、良い関係が続いている。また、必要な情報を提供できるよう心掛けている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 常に見守りし、日々のかかわりの中で会話しながら、一人ひとりの希望や意向の把握に努め、生活の中で活かしている。 (外部評価) アセスメントを基に、利用者の様子や会話から思いや意向を把握し、困難な場合は家族から情報をもらったりカンファレンスを行って、本人本位に検討している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時、基本情報シートに記入していただき、全体を把握している。また、本人様や家族様から色々と教えていただいている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 常に見守りしながら、一人ひとりの生活のリズムや、心身の状況を把握し、その人の得意分野で力が発揮できるよう心掛けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 利用者の担当者が中心となりモニタリング行をう。ミーティング時、介護計画書の評価及びカンファレンスを行っている。本人の意思を尊重し、家族様の思いや意見が反映されるよう作成している。		
			(外部評価) アセスメントを基に、ミーティングで職員全員で話し合い、担当者を中心にして意見交換やモニタリング、カンファレンスを行って、それらを反映した個別の介護計画を作成している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画の期間中、効果など評価すると共に、利用者様の状況変化に応じ、見直しを行っている。家族様に報告し、意向を伺って計画を作成している。		
			(外部評価) 個別の介護記録、日々のチェック表や職員間連絡帳などで利用者の情報を共有・確認し、3か月毎に見直している。定期の見直し以前でも、変化に応じてその都度新たな計画を作成し、家族の確認を得ている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別介護記録や一日チェック表、連絡帳にて、必要な情報を共有し、評価、見直しを行い、実践や介護計画に活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の状況は、日常生活の中で把握しており、その時々々の要望に応じ、近隣のデイサービスセンターや保健センターの利用、外泊など柔軟な支援をしている。 (外部評価) 毎週1回のデイサービスや保健センターの利用、外泊など本人や家族の要望に応じて柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 安心して心豊かな暮らしが続けられるよう、皆様（地域のボランティア、民生委員、地域消防団、学校、保育所等）にご協力いただきながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 散歩もかねて隣接しているデイサービスセンターや保健センターを利用している。また、入居前から利用している理容院等を利用している。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 支所の保健師さんも運営推進委員になっていただき、包括支援センターとの協働を図っている。又、支援に関する情報交換や相談協力が得られている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人やご家族様が希望するかかりつけ医となっている。 また、連携している医療機関を確保し、適切な医療が受けられるよう支援している。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医や必要な医療を大切にし、結果を記録してホームとの関係を築きながら受診を支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 日常的に、支所の保健師と相談できる体制にあり、専門医による往診治療を受けている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) かかりつけ医の看護師との連携や、隣接しているデイサービスセンターや保健センターの看護師といつでも相談できる関係にあり、意見を伺いながら支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) できる限り、利用者様やご家族様の意向に沿って、情報交換しながら、対応可能な段階で早期退院できるよう支援している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人の体調は常に家族と話し合い、理解を得ており、緊急時には、ご家族様、主治医、看護師に相談し対応している。在宅で可能な場合、ご家族様の協力を得、医師との連携をはかりながら支援している。 (外部評価) 入居時に本人及び家族の希望を開き、入居後も本人の状態について常に家族と話し合い、主治医、看護師と連携を取り、重度化のケアのあり方や方針を全員で共有している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常に主治医、ご家族様との連携が取れる状態にあり、ご本人、ご家族様に納得して過していただけるよう取り組んでいる。また、今後の変化に備えた準備は整っている。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) ご家族様の了解のもと、情報提供できるように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 年齢は尊敬にあたいする。という観念を全職員に徹底しており、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることなく、日々豊かに過していただけるよう支援している。 (外部評価) 利用者の個人情報等は、鍵をかけて適切に管理している。また、利用者の誇りやプライバシーを損ねることのない声かけや誘導に配慮している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 一人ひとりが思いや、希望を表すことができるような言葉かけをし、自己決定できるよう支援している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 常に目配りや気配りに心掛け、その人のペースを大切に、意見を尊重しながら支援している。 (外部評価) 利用者一人ひとりのペースを大切に、職員が見守りながら思いや意向に沿って過ごせるよう支援している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 日々、好みの服を着用していただけるよう支援している。また、本人の行きつけの理容・美容院へ、ご家族様と一緒にしている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 菜園で作った野菜や、利用者様の好みを献立に取り入れ、準備から片付けまで、できることは一緒に行い、楽しみながら食事ができるように心掛けている。 (外部評価) 利用者で作った野菜や近所からの差し入れなどをメニューに加えたり、利用者の好みを取り入れ、季節感のある食事を提供している。食事は職員と共に食卓を囲み、配膳、下膳、食器拭きなど、できる利用者には手伝ってもらっている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者様の嗜好について十分に把握しており、本人の様子や時間を見ながら、楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄パターンを把握し、必要な方には誘導し、プライバシーを大切にしながら支援している。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 利用者様の希望に合わせ、体調をチェックしながら希望に添うような入浴を支援している。 (外部評価) 2日毎の午後としているが、2時半ごろまでに自由に入れるようにしている。入浴の苦手な利用者には、職員を変えて誘導したり、シャワーで対応するなど、一人ひとりが入浴を楽しめるよう支援している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 日中は居室外で自由な時間をもちながら軽い運動や散歩等希望を考慮し休息が取れるよう支援している。また、夜間の状態も記録やミーティング時において確認できている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 日々の清掃や調理、洗濯物を干したりたたんだり、できる事を一緒にしている。お餅つきや切干大根作り、野菜を植える時等それぞれのやり方があり色々と教えていたでいる。又、大きな声を出して歌ったり、踊ったりしながら一緒に楽しんでいる。 (外部評価) 食事時の手伝い、洗濯物たたみをはじめ、野菜作りや餅つき、切り干し大根作りなど、できることや昔取った杵柄を発揮してもらっている。また、毎月のイベントや誕生会、夏祭りやクリスマス、運動会などで楽しみごと、気晴らしの支援をしている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理のできる利用者様はごく一部の方で、ほとんどの方は難しい状態にあるため、家族様の了承を得て小額の金銭を預かり、個人出納長を作成し、管理している。近所の商店で買い物をする時などは、そのお金を利用者様に渡し、自分で買い物をしていただいている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 隣接している保健センター、デイサービスセンターなどを利用している。週1回デイを利用している方がいて、その日を楽しみに待ったり、天気の良い日は日光浴を楽しんでいる。 (外部評価) 隣接の市保健センターやデイサービスに出かけたり、ソファに座って戸外を眺めながらのんびりと日光浴を楽しんでいる。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) お花見に行き、桜を見て気持ちをリフレッシュしていただいたり、戸外で食事を楽しんだり、花まつりにはお寺に行き、説教をいただいたり、季節に合わせ出かけている。その時、ご家族様もお誘いし、参加していただいている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望時には、ご家族様の了解を得ているので、電話をし、ご家族様の声が聞けるよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) いつでも、誰でも気軽に来所できる態勢が整っている。本人や家族、来所者の希望を取り入れ、気持ち安らぐ空間を作り、居心地良く過せるよう工夫している。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) まず、利用者様に合わせ、ゆったりと、ゆっくりと、を目標に、静かな声掛け、さり気なく行動を見守りながら身体拘束しないケアに取り組んでいる。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自由な暮らしを優先し、常に見守り、目配りし、安全に配慮しながらケアに取り組んでいる。 (外部評価) 日中は鍵をかけないで、利用者の習慣を把握しながら常に見守り、安全を図っている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に利用者様が見える場所に職員が移動しながら見守っている。必要時のさり気ない声掛け、目を離さない介護を心がけている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 包丁、洗剤等は保管場所をきめ管理している。包丁を使うときには、見守りしながら一緒にしている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 介護事故防止対応マニュアルを作成し、それに基づき対応している。常に見守り介護を目標とし、ヒヤリハットがあった場合は記録に残し、話し合いで共有しながら事故防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 一人ひとりの体調を把握し、小さな体調変化も見逃さないようにしている。 心配蘇生法やAEDの使用法の講習を全職員が受講している。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の消防団の方に推進会議メンバーになっていただき、年末警戒の巡回をしていただいている。 職員は緊急通報装置の講習を受け、設置場所、使用方法は確認できている。 (外部評価) 消防署の協力を得て、年2回の防火・避難訓練をしている。緊急連絡網、避難誘導マニュアルを作成し、夜間想定避難訓練も実施している。消防署分団員が運営推進会議のメンバーになっており、災害時の協力が得られやすい。米や水を切らさないよう備蓄している。しかし、地域住民の協力を得た訓練は実施できていない。	※	地域の協力が得られやすい環境と条件を備えているので、地域の方と一緒に避難訓練を繰り返し実施し、避難マニュアルを整備することを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 日々の生活状況、体調変化はそのつどご家族様に説明している。 安全で安心して生活していただけるよう支援していきたい。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日々のミーティングや連絡帳により、情報を共有している。毎日のバイタルチェックにより体調変化の早期発見を心がけ速やかに対応に結び付けている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の効能票で確認している。 少しでも変更があった時は、口答伝達や連絡帳に記入し、職員全員確認できるようにしている。服用後の変化にも気をつけながら主治医に連絡できる体制が整っている。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェックにてその人の排泄リズムをつかみながら、水分を多く摂取していただいている他、食物繊維の多い食材を考え、テレビ体操などしながら、自然排泄ができるよう努めている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) うがいをしたり、義歯を外して流し洗いや、職員が声掛けをしながら口腔ケアに努めている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の分量、水分摂取量を確認し、介護日誌に記録している。また、肉や魚や季節の食材を取り入れ、食べやすい調理に心掛けている。ディサービスの栄養士にアドバイスやカロリー計算をお願いしている。 (外部評価) 食事と水分摂取状況を毎日の介護日誌に記録し、1日を通して必要量が確保できるよう支援している。献立には季節の野菜を多く取り入れ、ディサービスの栄養士にカロリーチェックとアドバイスをもらっている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 玄関、洗面所に消毒液を常備している。外出から帰った時、お茶うがい、手洗いを励行している。 感染症予防マニュアル書を参考にしている。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 冷蔵庫のハイター除菌、食器乾燥機の使用。施設内できた無農薬野菜を使用したり、新鮮な食材を取り入れ常に安全に心掛けている。		

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 中庭に季節の花を植え、目で楽しんでいる。玄関先にはベンチを置き、日光浴を楽しみながら道を通る人が、気軽に声を掛けてくれるような雰囲気を大切にしている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 机の上に季節の花を飾ったり、人形ケースを置いたり、気持ちが和むように空間作りをしている。 なじみのある音楽を流すなどして、リラックスし穏やかに過ごしていただけるよう心掛けている。 (外部評価) 築200年の古民家を移築したホームは天井が高く、広々としたリビングにはソファを配し、季節の花や観葉植物を飾り、ゆったりと落ち着く空間である。和紙製の照明と天井からの明かり取り、掃きだし口からの自然光を取り入れ、居室を通して入る風も心地よい。浴室やトイレは清潔で気になるにおいもなく、車いすでも使用できる広さがある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 皆が誘い合せて話ができるオープンスペースの和室が中央にある。外の景色を眺めるよう、外向きに長イスを置いて、一人ひとりが自由に過ごせるよう支援している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 昔から使っていた家具や、使い慣れた道具を居室に置いていただいている他、自由な空間があり落ち着いた雰囲気できつろいで過ごせるよう工夫している。 (外部評価) ベッドや畳をはじめ、整理ダンス、テレビなどそれぞれ使い慣れた物を持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。		

自己評価	外部評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 朝はできるだけ戸を開け、新鮮な空気を取り入れるようにしている。 台所、トイレは常に換気を行っている。 エアコン、加湿器などで空調管理しているが、できるだけ自然な形で過せるよう支援している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 老人車、杖、車イス、手すり、移動が充分できるスペースがあり身体機能に合った移動支援をしている。常に見守りし安全に配慮している、		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人ひとり介護度差があり、その人に合わせた介護に努めており、不安そうになった時は静かに声掛けをしながら、誘導するように心掛けている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 季節の野菜を植え収穫を楽しんだり、玄関前のベンチやベランダで日光浴を楽しんだり、思い思いに過ごされている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	本人の思いや願いを伺いながら、日々、充実感がもてるような支援をしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	常に見守りしながら調理の準備を一緒にしたり、軽い運動や歌ったり、食卓を囲み、昔話や思いを聞きながらお茶の時間を過している。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	常に目配りしながら本人の希望する廊下の長イスで外の景色を楽しんだり、和室で足を伸ばしてくつろいだりと、思い思いに過されている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分の得意な分野や興味のある事は進んで作業をし、生き生きとした表情がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	声かけしながら、その日の体調、気分などを確認し、できるだけ戸外に出かけ、気分転換できるように支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	介護記録や一日チェック表、連絡帳において、日々の体調確認ができており、本人の訴えに耳をかたむけながら見守りしている。また、主治医、ご家族様との連携がいつでも取れる状態にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	無理に同意を求めることなく、混乱時にはさり気なく言葉がけし、本人の思いを受け入れ速やかに対応している。また、話す時間を持ち、安心して過せるよう支援している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	日頃からいろいろな相談ができ、信頼関係を保てるように心がけている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ① ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の方が、家で取れた野菜や果物を持ってきてくれたり、ディサービスにいられた友人、知人が訪ねてこられ、一緒にお茶を囲みながら穏やかな時間を過している。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	① 大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の方々や関係者とのつながりにより、グループホームの理解者や、応援者が確実に増えている。マンドリンコンサートや夏祭りには多くの皆様の参加が得られた。
98	職員は、活き活きと働けている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員全員が同じ目的を持ち、常に意見交換できる場がある。お互いを思いやる心を持って働けている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日の食事は楽しみと言われたり、職員を交えた談話では会話も弾み楽しい時間を過している。また、職員のさりげない声かけに、自分の出来ることは進んでされている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	その人にあわせたサービスに心がけており、お便りや行事報告、行事予定等のご案内をお送りし参加いただいたり、感謝の言葉もかけてくださる等ご家族様とは良い関係ができています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者様一人ひとりのその人らしさを大切に、穏やかな日々の流れ、また、毎日笑顔がみられる日々をを過せるよう支援していきたい。